



### 石城養蠶組合 農會に合併か

石城郡養蠶同業組合は片倉磐城製糸場の設立により蠶業獎勵の意味で同會社から年々二千三百圓の補助を受ける事となつてゐるが、財界不況の折柄とて未だに納入なく且つ各町村の負擔金も完納せるもの極めて少い状態に緊縮の折柄でもあり這般主任外二名の技術員中一名の技術員は先頃退職するの止むなきに至つたが更に残る一名の永山技術員も本月限り退職せねばならぬ破目に陥つたので明年度よりは栗田主任一人となる譯で成行も頗る注目されるに至つた矢先組合長和田基内氏も今回老齡の故を以て辭任する筈でいよいよ茲に同業組合は自滅の外なき窮境に陥つた代議員間にそれによつて善後策を講ぜられてゐるが結局郡農會と合併するに至るだらうと觀られてゐる。

### 湯本の不審火

郡湯本町寶海原平治(三三)方から二十日頃出火し同家を全焼隣家を半焼し同三時鐘火したが失火原因に不審の点があり平署では放火と睨み嚴重取調中であるが同家は去る二月火災保険に一千圓で加入したばかりである。

### ガマ口を落す

郡飯野村下荒川山崎(四七)は二十日午前十時頃平町に野菜賣りに来た際四丁目地内を歩行中現金七圓四十銭在中のガマ口一個を遺失したのを六丁目原田十吉(五〇)がこれを拾得してその場から逃走したのを跡になつ

### ハガキ集

(投書歓迎)  
昨日の夕方でありました、女の小さなあんまり歩かぬか、み小道をさまよひ歩いておりました、そこへ通りかゝつたのは少年で有りまして、少年は親切に私が手を引いて上げませうと云ひながら少女の手を引いてよい道の所迄送りました、少年の小さい心にも清い精神がこもつておりました、少女はそんなに嬉しかつたのでせう(孝生)去る本月十七日午前八時二十四分四合發の列車に乗込んだ女學生(磐城高等女學校)〇〇〇さんと今一人の同じ女學生が列車が発車すると風呂敷の中より取り出した本を二人共感心に讀み續けて居る、一寸目をぬすんで見ると教科書にあらずし、菊池寛著の「戀愛病忠者と時と戀愛」と云ふ小説であるが、學校に於ても机の中を一周間に一度位御検査を願ひたいものだ(ついでに「乗つた客」)  
四倉局電話交換手諸君は架線者に對し不親切と言葉の悪い事は縣下一、オソク日本に多少なからう、急用に電話を掛して二三回も出ずして五六回も呼び續く出て「ナニ」  
「ウ」の返事する事敢て珍らしいくない、常に二三回呼ぶのは四倉町の人は普通として居る様であります、局長などは何れ注意しても何等の處置なく次に仙臺の局長さんには同ませう、言葉の悪いのは彼等自然だから最も親切をモツ「ウ」とする交換手が「ナニ」  
「ウ」は一つ余計かもしませんが、夜の二階は男女合宿かね、夜通く電話を呼ぶと男が珍らしくあらず、早朝に電話呼ぶと其時あわて、出る夜遅くも早朝には五六回電話します、又此問題は普通であります、此問題は一而やきもちの様でもあるが、若き男女を使ふ人は自重せられたし。(注意生)

### 廿日替りプログラム

東亞超特作  
光岡龍三郎主演  
後藤院院長兵衛  
片岡左衛門、小川雪子助演  
草津温泉小唄映畫

### 盲ひの小鳩

杉村チエ子、早月あやめ主演  
帝キネ特作大岡政談の内  
明石緑郎主演  
嵐島徳、生野初子助演  
必ず優秀映畫!!

### 村井長庵

普通席 金二十銭  
有聲座

**腸胃** 専門 内科  
十二指 腸胃病  
婦人病 淋病  
皮膚病 専門  
**毒梅** 専門 皮膚科  
院 醫科 腸胃病  
(七〇一話電 町 平)

佛國マルソー會社元詰  
**生葡萄酒**  
マルソー・ブランク・白 1.10  
マルソー・ール・ジ・赤  
良品にして安價賣行飛ぶが如し  
**西村屋藥局**  
印刷物は 加納活版所

### 生徒募集

募集人員

本科第一部	二ヶ年卒業	五十名
本科第二部	三ヶ年卒業	五十名
技藝高等科	二ヶ年卒業	五十名
同 専攻科	一ヶ年卒業	三十名

◎入學願書ハ履歷書ヲ添へ三月末日迄  
◎四月四日午前十時入學式舉行  
◎學則請求ノ方ハ郵券二錢封入ノコト  
文部大臣認可 **平陽女學校**  
福島縣平町(電話四四五番)

### 靴と帽子

入學進級には  
ゼヒ「ツルヤ」へ  
新しい丈夫な品が得られます  
平町四丁目(電話一四〇一)  
**にツルヤ**

優美高尚  
御婚禮  
御履物  
是當店で非  
**鈴木はき物店**  
海岸線平町三丁目  
電話二十九番

萬病の靈藥  
故長井博士の推獎せる  
**別府府 鑛泉** 定價一圓也  
地方一手販賣 五丁目角 **山野邊藥局**

◆り替眞寫日一十二月三◆

曲戲代時活日 龍卷長屋  
演主子京井櫻一郎四妻新

ロブ妻阪供提竹松 牌骨花  
演主 郎三妻東阪

篇名つ立に端先の度年九二九一・畫映作超活日大

## 都立交響樂

二永木高・子かた江入・勇 杉小・江靜川夏  
トスヤキータスルー才他其・子久花瀧

### 御待兼の木村重友師行

愈々來る廿一日より花々數開演

故父久太郎儀葬送の際には御多忙中の處遠路御會葬被成下且つ御鄭重なる御香奠を賜はり難有奉深謝候乍略儀不取敢以紙上御禮申上候

昭和五年三月二十一日  
男 諸橋守次  
外親戚一同